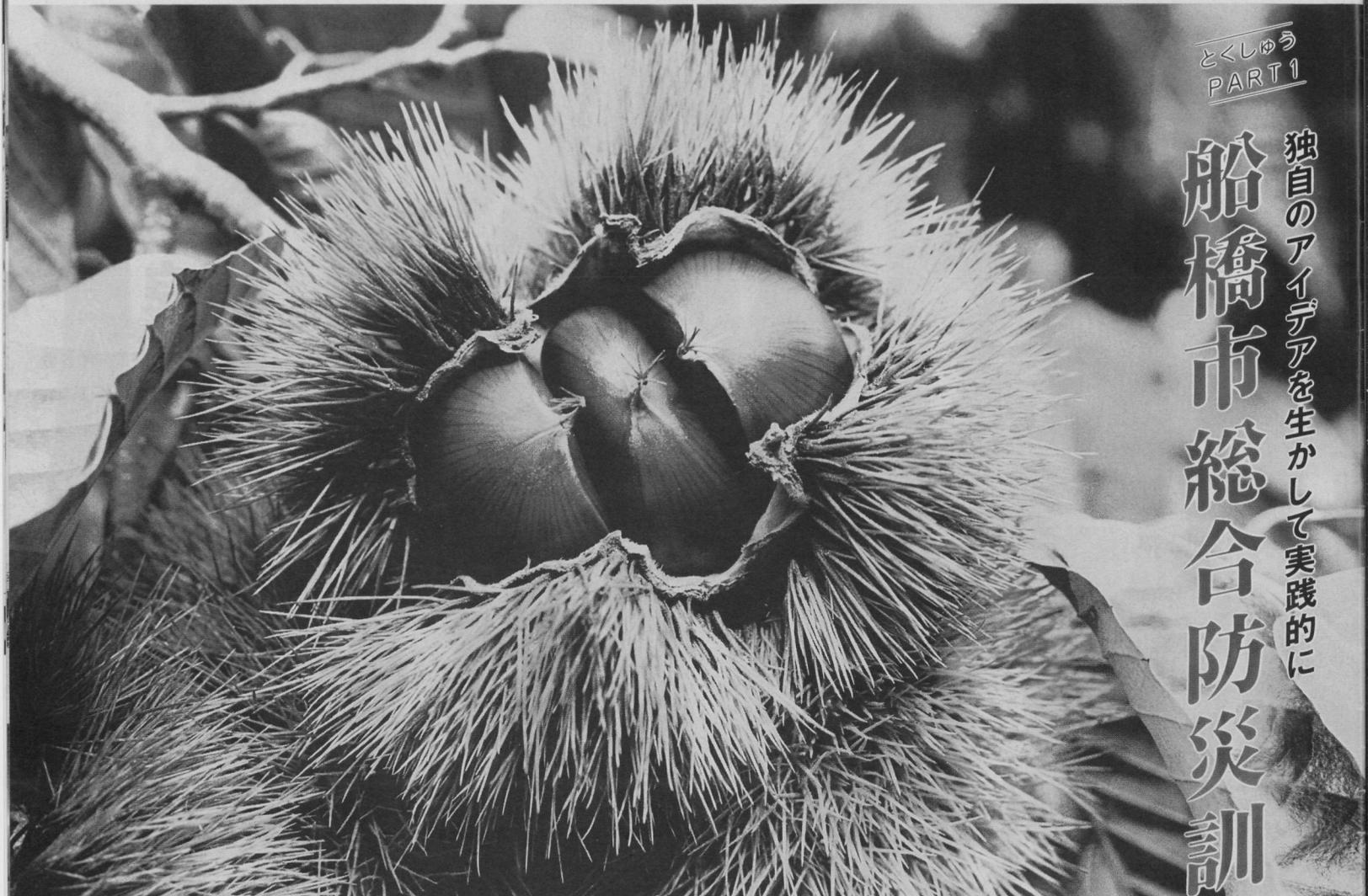


Photo ふなばし

とくしゅう
PART 1

船橋市総合防災訓練

独自のアイデアを生かして実践的に



市内小野田町で

とくしゅう
PART 2

食卓を秋色に ふなばし・実りの風景

MOVE

開通に向かってラストスパート! 東葉高速線レール締結式

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信 ●ズームアップ
- WE ARE IN FUNABASHI

まちなかの文化財／ふなばしの民話
ペットインタビュー



実践的な訓練が行われた総合防災訓練

vol. 69

広報ふなばし写真版



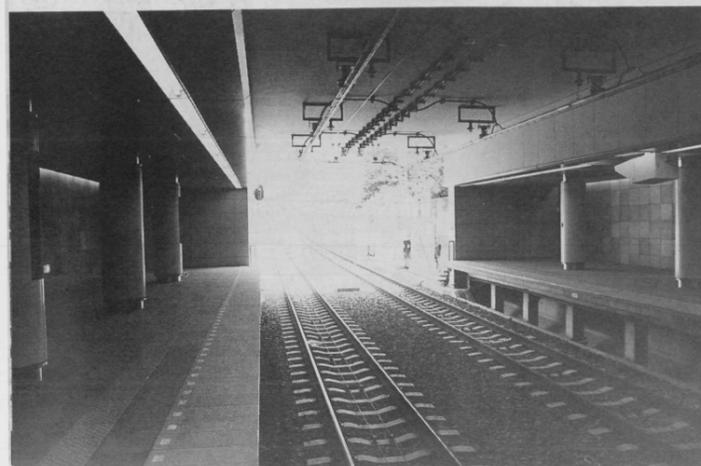
東海神駅



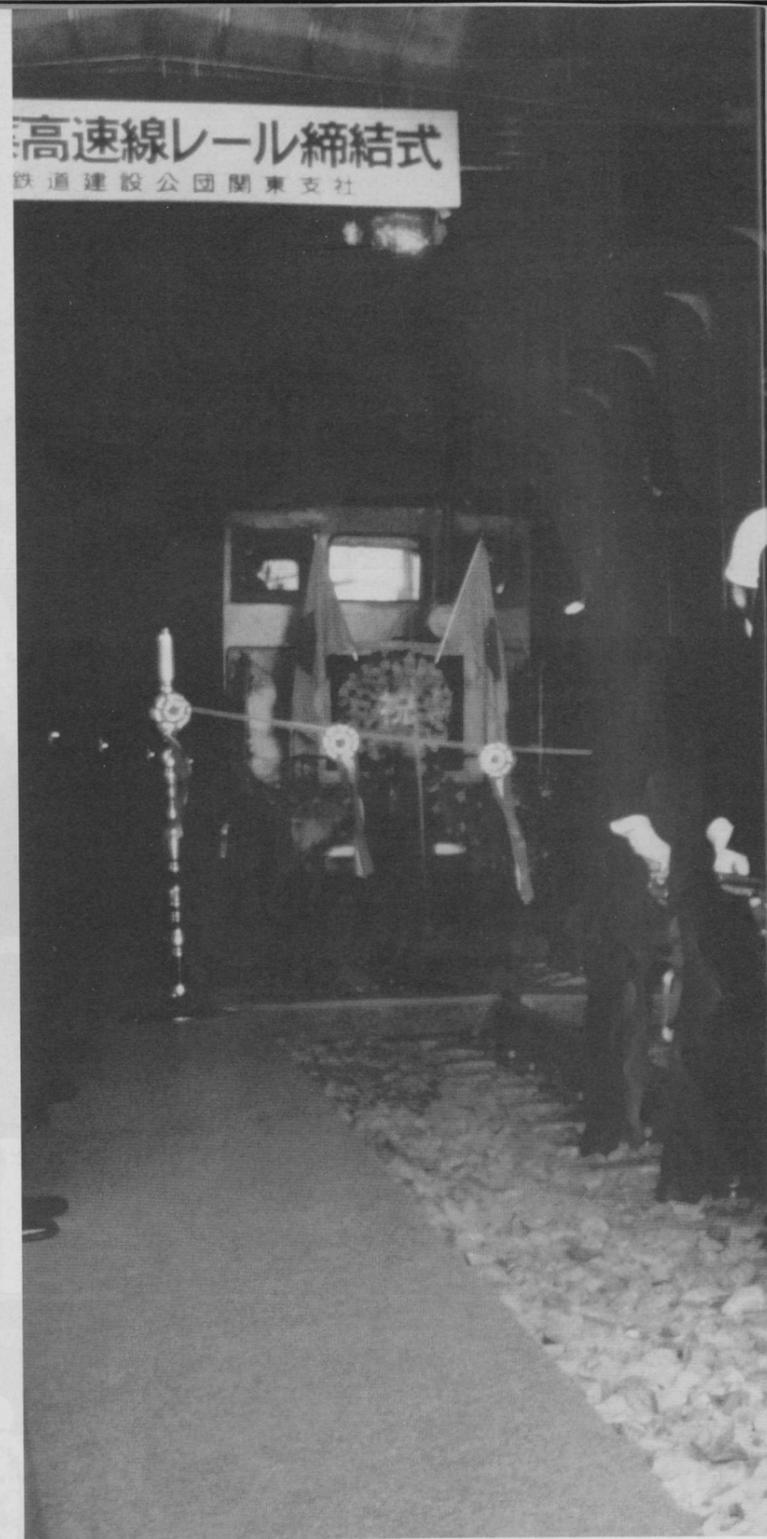
飯山満駅



北習志野駅



船橋日大前駅



高速線レール締結式
鉄道建設公団関東支社



MOVE

開通に向かってラストスパート!

東葉高速線レール締結式

力強い掛け声とともに、大橋和夫市長（左列前から2人目）ら8人の手によって、全線で最後のレールのボルトが締められました

市内10本目の鉄道となる東葉高速鉄道。8月7日、夏見高架橋（夏見5）で、レールの締結式が行われました。これにより、西船橋・勝田台間約16キロメートル全線がレールで結ばれました。

式典には、国、千葉県、船橋市、八千代市や鉄道関係者など70人が出席。大橋和夫市長や土橋正義運輸省関東運輸局長ら8人が、掛け声とともに締結ボルトを締め、全線で最後のレールが取り付けられました。締結式を終えた大橋市長は「船橋・八千代両市の地権者700人の皆さんの同意を得るために大変苦労しました。来年4月の開通が決まり感無量です。関係者の皆さんに心から感謝しています。」と感想を述べました。

昭和59年7月の工事着工以来、11年の年月をかけた軌道工事が完了、開通に向けて最終的な架線工事や軌道の安全確認、試運転などを残すのみとなりました。また、市内に新設される4つの駅名は、「東海神」、「飯山満」、「北習志野」、「船橋日大前」に決まりました。

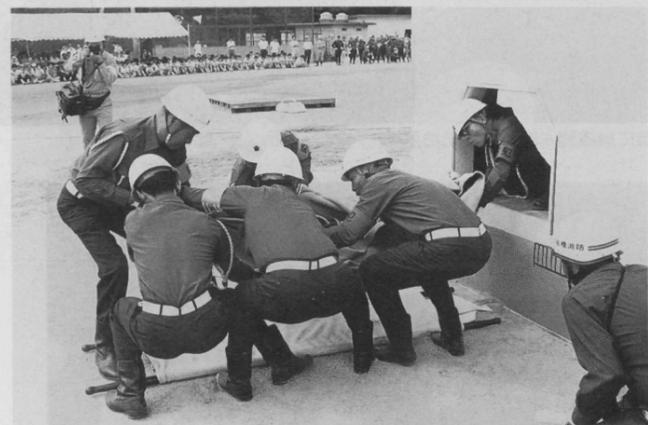


モーターカーによる走り初め

独自のアイデアを生かして実践的に 船橋市総合防災訓練



陸上自衛隊第一空挺団も参加し、ヘリコプターによる重症患者の搬送が行われました



木造住宅の一部を改造して、家が倒壊しても一時的に身の安全を確保できる「住宅内避難室」からの脱出訓練



警察が先導して、救援物資が調達されました



住民による負傷者搬送避難訓練



女性消防団員や警察、市職員の誘導で、近隣住民が続々と避難を開始しました



災害対策本部長である大橋和夫市長のもとに、次々と状況が報告されました



機動力を生かした救援活動を繰り広げた、全国初のミニバイク隊



体に障害を持つ皆さんも、避難訓練や初期消火訓練に参加しました

ライフラインの復旧活動訓練。(NTTの電話線敷設訓練)



船橋市では、阪神・淡路大震災を教訓に、「防災先進都市」を目指して新たな震災対策に取り組んでいます。9月3日に行われた防災訓練では、「災害弱者の救護・救援」をテーマに、様々なアイデアを盛り込んだ、より実践的な訓練が13会場で開催されました。

メイン会場となった高根中学校・高根東小学校併設グラウンドには、地震発生時の合図とともに、現地災害対策本部が設置されました。

船橋市が導入した全国初のミニバイク隊が出動し、情報収集。さらに、塔載した油圧ジャッキやボールなどを使い、消防団と協力して倒壊家屋から負傷者を救出しました。エアテントを使った応急救護所では、市医師会や保健所、消防局救急隊が協力して素早く応急処置を開始。重症患者はドクターカーで病院に搬送されました。陸上自衛隊も救援に駆け付け、重症患者をヘリコプターで搬送。また、船橋市が独自に進めている震災対策の一つ、「住宅内避難室」からの脱出訓練も行われました。

このほか、たくさんの方の関係機関が参加して、ライフラインの復旧や障害物の除去訓練、市消防団が、今年初めて採用した女性消防団員による救護活動なども実施されました。

さらに市では、休日や夜間の災害発生を想定して、市内の避難所の近くに住む職員1593人を非常参集職員に指名。避難所の運営に当たることにしていますが、今回は、12か所のサブ会場に、その担当職員が出動して訓練を実施しました。



船橋建設業会による障害物除去訓練。倒壊家屋や事故車両などを素早く除去しました



連携のとれた訓練が展開され、見学している皆さんも思わず拍手



8月27日に船橋海浜公園で行われた津波訓練



三角巾の使い方を説明(葛飾小学校)



住民ボランティアと赤十字奉仕団の皆さんによる給食・給水活動訓練



初期消火訓練には、大勢の皆さんが参加しました

寺社巡りはいつも蚊に悩まされるが、ここはまた格別だ。墓地だから。同行のS君は頬を叩いたり腕を掻いたりしながら撮影している。

金杉出身の幕内カズ、金湊の墓を訪ねたが、夫人の建てた墓碑は金港になっている。よくは知らないが普通は金湊である。

この場所、金杉共同墓地の一つで利根山・オーラントウと呼ばれている。総合教育センターの天下井恵先生によると、オーラントウのオーは、大ではなく、奥とのことだ。たしかに大きい墓地でもないし、他に中卵塔という墓地もあるそうだから、多分間違いないと思う。また利根山など同地の字(あざ)昭二先生(視聴覚センター所長)が詳しい。

さて金湊だが、細長く奥まったオーラントウ場の中に墓碑が建っている。明治四十二年八月十八日当地に生まれ、大正十五年八月上京、湊川部屋入門。昭和九年五月新入幕を果たし、前頭五枚目まで昇進したが、昭和十八年春場所限りで引退した。幕内通算成績六十一勝八十四敗というから大したものだ。小兵ながらなかなかの業師で、十両時代にはあの双葉山を二場所連続で破っている。

(文・大木 懋)

寺社巡りの文化財

かねと湊の墓
(金杉1丁目)



樹木に覆われた共同墓地



金湊の墓碑



応急救護所の重症患者が、ドクターカーで病院に搬送されました



避難してきた住民の皆さんに、三角巾を使った応急処置の方法を指導

ふなばし・実りの風景



市の北部地区に広がる穀倉地帯。たわわに実った稲穂が頭を垂れていました



カゴ一杯にとれた梨を前にして記念撮影（大神保町・松丸さん）



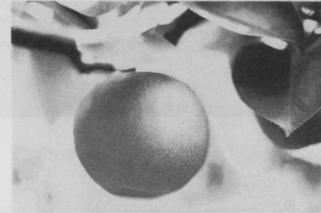
稲刈りに大忙しの佐藤賢一さん（夏見台1）。
おいしいお米を食卓にお届けします



高根小学校の児童が植えた苗も大きく
成長し収穫を迎えました



ブドウの代表品種、巨峰。平成5年
には約26トン収穫されました



夏の日差しを浴びて、
甘い実をつけた梨



キウイフルーツは、平成5年に約10トンの
収穫がありました（馬込町）



船橋市のキャベツは、年間生産高8400トンで千葉県第2位（旭町2・高橋さん）



整然と並んでいるネギ畑。畝を少しずつ高くしていきます（旭町3・高橋さん）

9月も中旬を過ぎると、朝晩めっきりと涼しくなり、日中もさわやかな風が通り過ぎていきます。まちや道行く人々の服装も落ち着いた秋色に衣替え。
読み残した本に手を伸ばしたり、大好きなスポーツに汗を流したり、あるいは家族や友人と行楽に出掛けたりと…。いろいろな事をやってみたくなるシーズンですね。
商店街や住宅街から少し離れると、田畑や果樹園などでは、いよいよ実りの季節を迎え、収穫作業に追われている姿をたくさん見かけます。
豊富地区では、梨の収穫が盛んに行われていました。春にきれいな白い花を咲かせていた梨の木が、夏から初秋にかけて大きな実を付け、幸水、豊水、新高などが、次々と全国に向けて出荷されます。生産者の皆さんは、家族総出で大忙し。また、ブドウ（巨峰）やキウイフルーツ、クリなど、秋を代表する果物も豊かに実った姿を見せていました。



袋がけされたブドウは、収穫するとさっそく箱詰めして出荷されます（三咲1・川尻さん）



9 一定の温度に保たれたハウスで栽培されるサラダ菜は、一年中収穫できます（行田町・服部さん）

地域防災無線システムの整備と 防災用パソコン通信の活用



協議会は、市内46の団体や機関で構成されています



3か月にわたる研究結果が報告されました

船橋市では、災害時の情報連絡体制を強化するため、平成7・8年度で、相互に通信できる地域防災無線システムの整備を進めています。9月19日、このシステムを警察や消防、ライフラインの各機関などと一体化して運用するため、大橋和夫市長を会長とする船橋市地域防災無線協議会が設立されました。

また、9月18日には、パソコン通信を利用した「防災用情報システム」について、市職員15人によって構成されていた研究プロジェクトによる報告書がまとまり、大橋市長に手渡されました。

姉妹都市からコーチを招いて 第7回バスケットボール・クリニック



本場のコーチが動きをまじえて熱心に指導



市内の小・中学校合わせて500人が参加

8月2日から5日まで運動公園体育館で、姉妹都市のカリフォルニア州ヘイワード市からコーチを招いて、バスケットボール・クリニックが行われました。今回は、参加した小・中学校のバスケットボール部員が実際に試合を行い、その中で動きをコーチが1つ1つとりあげて、より実践的なアドバイスを与えていました。

スポーツ健康都市のシンボル “風さやかちゃん”が登場



大橋市長と湊町保育園の園児たちが、風さやかちゃんを囲んでハイ・チーズ

9月13日、“汗一平君”とガールフレンドの“風さやかちゃん”が市役所を訪れました。船橋市は、昭和58年にスポーツ健康都市を宣言。そのシンボルとして汗一平君が誕生し、様々なイベントで活躍しています。平成4年には、ガールフレンドの愛称を公募して、“風さやかちゃん”に決定。この日は、大橋和夫市長と湊町保育園のチビっ子たちが二人を出迎えました。10月10日のスポーツ健康の祭典で、市民の皆さんの前に仲良く登場します。

最新の機器を一堂に 第4回船橋市介護機器展



▲車椅子やベッドなどの介護機器に実際に触れることができます



市保健婦による介護の実演

「みて ふれてください 人にやさしい介護機器」をテーマに、9月1日から3日まで市民ギャラリーで、船橋市介護機器展が開催されました。これは、寝たきりのお年寄りなどを介護している方のために、最新の介護機器を展示して、適切な機器を選ぶ機会を提供するものです。会場には、たくさんの移動器具や寝具などが並び、市の保健婦による介護の実演や相談コーナーも設置されました。

戦後50周年記念事業 愛と平和の集いふなばし'95

8月17日から20日まで市民文化ホールで「愛と平和の集いふなばし'95」が開催されました。これは、終戦50周年という大きな節目に生命の尊さを見つめ直し、平和の大切さを再認識しようというものです。期間中は、「思い出のシネマ&朗読劇」、「永六輔トーク&コンサート」、「ファミリーシアター」など、様々な催しが行われました。また、1階のロビーでは、広島・長崎の原爆や沖縄戦の写真を展示。訪れた皆さんは、言葉では言い表せない悲惨な戦争の姿を目の当たりにして、平和の尊さを心に刻み込んでいるようでした。



8月20日に行われた「芹洋子ふれあいコンサート」



戦争の悲惨さを訴えた「平和パネル展」

モダンアートの世界 東アジアの作家達展



若手作家25人の力作を展示

8月16日から27日まで、市民ギャラリーで「東アジアの作家達展」が開かれました。10年前に、日本、韓国、台湾の作家によって始められたこの展覧会。毎年、開催地を変えて開かれ、日本での開催は3回目となりました。今年は、タイと中国を加え、総勢25人の若手作家が、絵画や版画など86点の作品を出展。訪れた皆さんは、1点1点熱心に見入っていました。



応急手当てコーナーで子供たちもCPRにチャレンジ



華麗なアリーディングに沿道から大きな拍手が送られました

8月27日、北習志野駅前商店街（JUUJUきたなら）で救急フェアが行われました。この催しは、身近に起きた事故などで、救急車が到着するまでに正しい応急手当てができるようにと、毎年開催されているものです。当日は、市消防局音楽隊と船橋学園女子高校バトン部の皆さんによるパレードでスタート。会場に設けられたCPR（心肺蘇生法）コーナーでは、大人も子供も真剣に心臓マッサージや人工呼吸にチャレンジしていました。また、梯子車・起震車体験や健康相談などのコーナーにもたくさんの皆さんが参加しました。

CPRにチャレンジ 救急フェア

市民ひとことインタビュー 船橋で、あなたの好きな場所は？



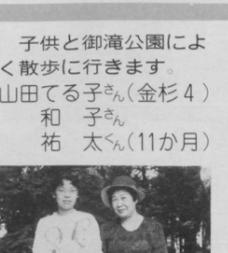
ワンパク王国へは何回も遊びに行きました。早瀬博紀くん(夏見台) 宮澤脩一くん(小1年) 太田将貴くん



近所でカラオケもできるし、体育館にトレーニング室もあるので、習志野周辺かな。沢石 薫くん(坪井町)



海老川が好きです。桜の時期には、お花見にも行きました。鈴木好江さん(高根台6) 山本紀子さん(習志野台6)



子供と御滝公園によく散歩に行きます。山田てる子さん(金杉4) 和子さん 祐太くん(11か月)



海老川の河口付近や埋め立て地の辺りなど自宅周辺が好きで、散歩しています。松本一雄さん(本町3)



チビッ子たちがラムネの早飲み挑戦

「'95ふるさと法典三丁目町会夏まつり」が8月19日、20日に法田中学校跡地で行われました。今年で30回目を迎えたこの夏まつりは、子供からお年寄りまで楽しんでもらおうと様々なイベントが盛りだくさん。グラウンドゴルフやスイカの早食い大会、ザリガニ釣りに、たくさんの子供たちがチャレンジしました。2日間で約3,000人が訪れたこの夏まつり、今年も大盛況でした。



大盛況のおまつりに町会の皆さんもニコリ

町会・自治会 チビッ子たちも大はしゃぎ '95ふるさと法典三丁目町会夏まつり



四季折々の歌をメドレーで披露したさざんか少年少女合唱団の皆さん



会場のお客さんも参加したばか面踊り

幕張・稲毛海浜公園で開催されている「全国都市緑化ちばフェア」では、毎日楽しいショーが行われています。9月24日、稲毛会場の「松風のステージ」に、船橋市のばか面踊り（西六町会）と、さざんか少年少女合唱団が出演。子供たちのゆかいな踊りと、すてきな歌声が披露されました。

全国都市緑化ちばフェアふるさとの日 ばか面踊りと合唱を披露



船橋大会ではレベルの高い戦いが繰り広げられました



8月15日からの韓国大会には、船橋の女子選手3人が参加しました

I.B.A 国際親善少年野球船橋大会

8月5日、6日の2日間、薬円台公園で、国際親善少年野球船橋大会が開催されました。これはI.B.A船橋少年軟式野球国際交流協会が主催したもので、今年で14回目。ペルギーと韓国の2チームを招き、市内12の少年野球の混成チームが対戦しました。当日は、猛暑に負けない元気なプレーが続出。試合後は、プレゼントの交換も行われ、国境をこえた友情をはぐくみました。

街まちかど角 ホットニュース

皆さんからの情報をお待ちしています

◆広報課

☎ 36-2015



見ごたえのある写真展に大勢の皆さんが訪れました

歴代の市長賞作品も展示 船橋市写真連盟会員展

第12回船橋市写真連盟会員展が、8月2日から6日まで市民ギャラリーで開催されました。会場には、ポートレートや風景、旅先でのスナップ、お祭りなど様々なモチーフを題材にした作品90点が並び、まさに圧巻。また、船橋市写真展の歴代市長賞受賞作品や、珠玉の写真集の閲覧コーナーも設けられ、すばらしい写真の数々に触れる格好の機会となりました。



アンセルアダムスや木村伊兵衛など、素晴らしい写真集が並んだ閲覧コーナー

重陽気功リーダー 養成講座修了式



力を合わせて気功の普及に努めます」と協会の皆さん

9月9日女性センターで、船橋重陽気功協会のリーダー養成講座修了式が行われました。友好都市中国・西安市との交流で、市内の気功愛好者が年々増えていますが、その指導者はまだ不足しています。そこで、協会が1年間にわたり、講座を開催。12人の皆さんが全課程を修了しました。



荒谷美枝子会長から、一人ひとりに修了証が手渡されました

郷土芸能 小室の獅子舞



雌獅子を取り合うように乱舞します

小室地区に古くから伝わる郷土芸能「小室の獅子舞」が8月21日と9月1日に、本覚寺、八幡神社などで行われました。この獅子舞は、今から約400年前に、悪魔・悪疫退散と豊作を祈願して行われたのが始まりともいわれていて、千葉県民俗・無形文化財に指定されています。一般に獅子舞は、2人1組で舞われていますが、小室の獅子舞は1人で1匹の獅子を操り、雄獅子、雌獅子、中獅子の3匹の獅子が舞うという特徴があります。獅子のたたく太鼓と笛の音が心地よく響く境内は、見物に訪れた皆さんでにぎわっていました。



船橋市消防団長 加藤隆義さん田喜野井6 地域の皆さんと 密着した活動を



消防団機関員養成講習で、新入団員に訓示をする加藤団長



市消防局と協力して、消防広報紙も創刊しました

「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域連帯の精神で、地域消防・防災に活躍する消防団。船橋市消防団は、大正12年に発足し、現在、20分団59班で組織され、総員687名を数える。そのトップとして平成3年4月から第15代の団長を務めているのが加藤さん。

昭和35年4月、地域の先輩に誘われて消防団員となった。「みんな20歳くらいで入団してました。当時は、声がかからないと仲間はずれにされたような意識がありましたね」
消防団の実践的な基本訓練を向上するため、毎年、ポンプ操法大会が開催されている。加藤さんが入団して数年後、第15分団2班の選手として千葉県大会に出場し、船橋市として初めて第4位に入賞した。また、昭和51年、副団長に就任した年に、第15分団が全国大会に出場して、東日本勢では初めての全国制覇を成し遂げた。「全員が大会に向けて一生懸命訓練に

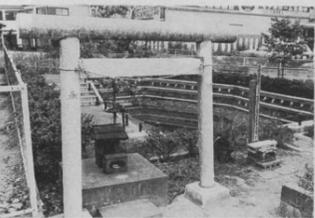
励んで、本当に連帯感がありましたね。とても良い思い出です」
今年1月17日、阪神・淡路大震災が発生。加藤さんはすぐに市消防局長と連絡を取り、19日に市消防局の幹部と、消防団の本部長、分団長を集めた。「今、船橋に大地震が起きたら、消防団は何をすべきなのかを話し合いました」
さらに、災害時の救出・救護を迅速に行うため、全分団にチェーンソーやパール、無線機などの装備を充実。「消防団の使命は地域を守ることです。皆さんの信頼を得るために、地域と密着した活動をしていきたいですね。また、女性の持っているソフトな感性を、地域防災の啓発に役立てたいと思い、今年初めての女性消防団員13名を採用しました」
全国でも先進的な防災対策を進めている船橋市。消防団もその一翼を担い、市民の期待に応えると同時に、団員にとっても魅力的な消防団づくりに取り組んでいきたい、と加藤さんは力強く語った。

おはんが池余聞

文・村上昭三



昔、女の人は結婚すると、歯を黒く染めました。このお歯黒の材料に、周辺の野山に生えているヌルデの木に出来る虫瘤(五倍子)を採って乾かしておき、鉄漿を塗った歯の上に、更にこの粉を塗って染めました。その頃、田喜野井村に、八歳位のおはんという名の小女がいました。おはんは、この村一番の大尽の家に子守奉公をしていました。初秋のある日、この家のお上さんがおはんに向い、「おはんや、今日は井戸本の池の側に行つて、ヌルデの木の虫瘤を採つて来ておくれ。それから、木登りには気をつけなさい」と用事を言いつけました。素直な性格のおはんは、「はい、行って来ます」と元氣な返事をし、竹籠を持って駆けて行きました。おはんは、すぐに池の傍



かつては、豊富な水を湧出したおはんが池の跡地

するこの時、その枝は重みで大きく曲つて折れました。おはんは「あつ、助けてえ」と叫び声を上げながら、池の中に落ちました。夕方になりました。大尽の家では、おはんの帰りが余り遅いので大騒ぎになり、村の人達の応援も得て、池の中を手の届く限り探しました。しかし、池の中は飽くまでも深く、おはんの遺体はどうとう出て来ませんでした。これには、大尽の家族や村中の人達は、おはんを大変可哀相に思い、心から悼みました。そこで、心から悼みこの池を、誰言うともなく、おはんが池と呼ぶようになったというこどです。

タンクトップに、チューリップ柄のブラウス。スバツにミユールを履いて、全体を黒でエリガントにコーディネートした工藤さん。95年ミスなばしコンテストで、「ミスさんか」に輝き、産業まつりをはじめ、いろいろな公式行事で活躍しています。

好きな色は黒、黄、白。「黒は、ほかの服と色が合わせやすいですね」

今日のアクセサリは、パールの子ネックレスと、ダイヤをあしらったブラチナとゴールドの2連のリング。「アクセサリは、洋服に合わせてそろえるので、この洋服にはこのアクセサリというように大体決めていきます」

買った物は、勤務先に近い新宿や渋谷。「デザインや色、そしてパーツにちょっとした個性のある服を選びます。普段もスカートより、ジャケットにパンツとハーフパンツ姿が多いとか。工藤さんの趣味は高校時代から続いている日本舞踊。でも学生時代にはバスケットで活躍し、今は冬のスキーがお気に入りという一面も。

将来は、大好きなオーストラリアで生活してみたいと、秋の涼風のようにさわやかな瞳で微笑みました。



まい・ふあつしよん

アクセサリは洋服に合わせてそろえます

工藤和歌子さん(習志野)

EDC (イングリッシュ・ドラマ・サークル) 勤労市民センター

「集中することで、恥ずかしいという気持ち無くし、自分の感情を表現することが大切です」とゲリー・アラン・ウィットランド先生。元俳優で、アメリカの演劇学校でも指導していました。レッスンは毎週日曜日。今はパントマイムや劇、動物を演じるなどの基本練習に取り組んでいます。先生が日本語を話さないで、何を伝えようとしているのか、みんなで考えるのもレッスンの一つ。また、体を使って楽しみながら英語を学べるので、一味違った英会話スクールの雰囲気も。4月ごろには初公演も計画。あなたも一緒に演じてみませんか。(連絡先:石川秀峰 ☎45-2080)



▲中学卒業程度の英語力があればOKです



▶レッスンはすべて英語で進められます

サークル 通信 みんなの広場

明遊クラブ 法典小学校体育館

元気いっぱいの掛け声と明るい笑顔が印象的。明遊クラブは、ニュースポーツ「ビーチボール」のサークルです。これは、夏の海で見かけるビニール製のビーチボールを使い、6人制バレーボールのルールで4人1チームとなってプレーするスポーツです。毎週火曜日と第1・3日曜日の夜に、試合形式を中心とした練習に励んでいます。「ボールがとても柔らかいので、ケガをすることもなく、幅広い年代で楽しみながら運動できます」と皆さん。まだ県内唯一のチームなので、船橋を中心に広めていきたいと意欲満々。あなたもこの新しいスポーツにチャレンジしてみませんか。(連絡先:岡本千春 ☎38-4424 《午後5時以降》)



◀雨の日は室内でトレーニングします

▶あなたも歩く喜びを味わってみませんか



颯戸！ニューウォーキングは、健康保持のため、競歩を基本にしたウォーキングに真剣に取り組んでいます。公民館の講習会をきっかけに発足。現在、30～70歳代までの17人が毎週土曜日に集まり、汗を流しています。ウォーキングは、歩幅を大きくかかとから着地するフォームで歩き、タイムを計って、少しでも早く歩けるように練習します。元アジア大会競歩の金メダリスト、佐藤武男先生の的確な指導にも定評があります。「ウエストが細くなった」「体重が減った」という声も。現在の目標は、11月の「川越ウォークソン」に出場すること。あなたも一緒に健康づくりをしてみませんか。(連絡先:前田純子 ☎47-2349)

颯戸！ニューウォーキング 飯山満公民館



▲10代から50代まで、幅広いメンバーで楽しんでいます



◀楽しく汗をかいています

あいらぶ・ふなばし



「夏には、よく海浜公園のプールに行きましたね」

「夏には、よく海浜公園のプールに行きましたね。ガーリンドさんは、南米コロンビアのご出身です。日本人のご主人とは、仕事先で知り合い、7年前に来日し、以来ずっと船橋に住んでいます。5歳になる息子さんと3人暮らし。「コロンビアは、エメラルドの原産地として世界的に有名なんですよ。夫も宝石関係の仕事をしています」

「食事は和食オンリー。国に帰った時でも作るのには和食だけなんです」とニコリ。飲み



▲1枚1枚丁寧に焼きあげていきます

人気の「かた焼き」など12種類のせんべいが並んでいます

ご主人 手焼きせんべいの店 「金杉せんべい」 金杉9-6-9 ☎0474(38)3715

お米のこうばしい香りが漂うなか、焼き網で何度も丁寧に裏返され、こんがりキツネ色に焼き上げられたせんべい。昭和25年、先代によって焼き始められた金杉せんべいの味と技術は、二代目のご主人羽鳥英俊さんに大切に受け継がれています。

このお店の特徴の一つは、納得のいくせんべいを作るために生地を自分の所で作っていること。素材にこだわりを持つご主人によって選ばれた良質の米は、もちになり、型抜き、乾燥、水分調整など、何日もかけ、様々な工程を経てせんべいの生地にも生まれ変わります。人気の商品は、かた焼きと、ざらめ。「かた焼きは、米の風味と本来の堅さを出すため、米を粗くひき、弱火で30分以上かけて何回も裏返しします。ざらめはタレが命なので、先代から伝わる秘伝のタレを、何時もかけて作ります。今では、遠く九州や北海道からも注文が来るそうです。

「値段を上げてもいいから、味を落とさないでほしい」とお客様に言われて、とてもうれしかったと語る羽鳥さん。ご主人のこだわりを込めたせんべいを、みなさんも味わってみてはいかがでしょうか。

夏には、よく海浜公園のプールに行きましたね

ガーリンド・デージーさん (藤原)

物もコーヒーより緑茶の方を好んで飲まれるとか。

学生時代は語学を専攻し、英語、フランス語、イタリア語、そしてスペイン語、日本語を駆使するマルチリンガルウーマン。息子さんの会話も英語とスペイン語だそう。

「子供が高校に入ったら、兄が住んでいるイギリスのロンドンに、半年ぐらい留学させたいですね」。ガーリンドさんの瞳がキラキラと輝きました。

あ と が き

◇本号のご主人のコーナーで取材をさせていただいた金杉せんべいについて、熱く持つことすらままならない、焼き上がったばかりのせんべいに、生醤油だけを付けて食べさせてもらいました。口の中に、お米の持つ独特の甘さと醤油のしょっぱさが広がる、せんべいは米から作られているという、ごく当たり前のことを改めて認識させられました。

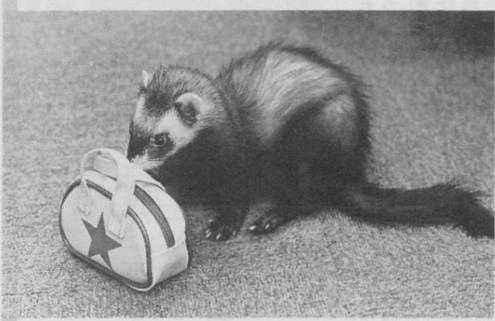
そう言えば一昨年の米の凶作。お米を主食とする国民にとって、非常に切実な問題だったことは記憶に新しいところです。この被害は、おせんべい屋さんにも及び、ご主人は原料となる良質の米探しに大変苦労されたそうです。米不足は、家庭の食卓だけの問題ではなかったんです。秋は、読書の秋、スポーツの秋、そして何より、豊かな実りの秋であってほしいですね。(荒)



無料歯科健診は家族連れに大好评

よい歯いい顔 ニコニコキャラバン

9月10日、船橋歯科医師会主催で行われたこのイベントは、80歳で20本の歯を残そうという「8020運動」の一つ。会場となった「ららぽーとセンターコート」では、歯科健診や歯みがき指導、セーラムーンの人形劇などが行われました。



テレビの後ろに、好きな小物をいっぱい集めています

私の名前はさくら。今流行のフェレットなんです。耳がピンク色なの。かわいいでしょ。出来すぎて言われるけど、今年の3月3日、桃の節句の日に生まれたんです。食事は1日2回、朝晩、フェレットフードを水で溶かしていただきます。ちょっとお腹が弱い。私のお気に入り、ゲージにつるしたハンモック型のベッド。揺れ具合が何とも言えません。1日20時間ぐらいい寝ることもあります。自慢はミンクのようにふさふさした毛並み。ご主人がよくシャンプーしてくれるんだ。臭いだって全然しないんだから。みんな誤解しないでね。ところで今年の夏も暑かったわね。夏は苦手なので、一日中エアコンをつけっぱなし。電気代とてもかかったんじゃないかしら。

なまえ さくら (フェレット) オーナー 福留政秀さん (本町)

ペットインタビュー

敬老の日、100歳以上は19人
町会・自治会で長寿を祝う



宮本四和自治会の敬老会では、梅后流の皆さんによる江戸芸かっぽれなどが披露されました



市内男性最高齢者、竹本正夫さんの長寿を祝う大橋市長



恵比寿様の登場に大喜び（夏見台南部・夏見一丁目自治会合同の敬老会）



楽しいイベントに思わず飛び入り参加する方も（小室地区敬老祝賀会）



湊町地区連合自治会の敬老会。各会長から長寿を祝う記念品が贈られました

9月15日敬老の日、各町会・自治会などが主催する敬老行事が約260会場で行われました。会場では、ダイヤモンド婚や金婚、米寿、喜寿などを迎えた皆さんに記念品が贈られたり、演芸大会が開かれるなど、お年寄りの皆さんが楽しい一日を過ごしていました。

現在、市内の65歳以上の人口は約5万人。今年12月までに100歳以上となる方は19人（男性：3人、女性：16人）となっています。当日は大橋和夫市長も、市内男性最高齢者の竹本正夫さん（103歳、大穴南4）を訪問。竹本さんの長寿を祝いました。

スポーツで健康ふなばし
こんにちは...



帰国した留学生はハイワード市の思い出を熱く語っていました

市国際交流協会では、姉妹都市ハイワード市との友好と国際感覚豊かな人材を育てようと、カリフォルニア州立大学ハイワード校への留学生の推薦を行っています。帰国した留学生と次期留学生が、8月22日、大橋和夫市長と丹澤章浩会長を表敬訪問しました。

船橋市国際交流協会推薦の留学生が
市長と会長を表敬訪問



1年間の留学を通してハイワード市との国際親善につとめます